



2-1  
八王子学

はちおうじ地域学シリーズ9「八王子ゆかりの人物像」  
～近・現代編 その2～



会場	学園都市センター ※ P87 参照
提供	八王子学園都市大学
曜日・回数	木曜日 3回
時間	13:30～15:00
受講料	2,500円
定員	30名
実施日	2月 1日 8日 22日
備考	

八王子市市制100周年の記念事業年度の最終時期にあたって、八王子にゆかりの深い人々をとりあげる人物シリーズの最終編です。馬場憲一先生の近世編「千人同心の人々」およびその前の近・現代編その1に続く近・現代編その2として、八王子出身3人の生涯にスポットをあてます。

第1回「西川正治」

講師 間宮 章

寺田寅彦のもとでX線回析の実験を手がけ、複雑な原子配列を持つ結晶の構造をはじめて解明、その後、理研の主任研究員となり電子線回析の研究とともに、国内外で多くの研究者を育てた。1951年文化勲章。八王子市名誉市民第1号。

第2回「井田誠一」

講師 塚本回子（井田誠一氏 次女）

ビクターの専属作詞家、外国曲の訳詞家として、戦後数多くの名曲をこの世に送り出した。特に曾根史郎の「若いお巡りさん」は高尾山薬王院境内に歌碑があり、雪村いづみの「青いカナリア」をはじめヒット曲の訳詞で知られ、また八王子まつりの「太陽おどり」の作詩者でもある。

第3回「橋本義夫」

講師 橋本鋼二（橋本義夫氏 次男）

戦前八王子で書店「揺籃社」を開き、多摩地域の文化センター的な存在となり、戦後「地方文化研究会」の看板を掲げ、社会のために尽くし酬いられず埋もれた人や事業の発掘を進めた。鍵水の「絹の道」の命名者とも言われる。今日の「自分史」につながる「ふだん記」運動を提唱し、指導的な役割を果たした。

受講生への

メッセージ

市制100周年にちなんで企画したこの「人物シリーズ」もいよいよ最終段階を迎えました。八王子の今日に貢献したその人物像は、とても魅力的です。特に今回は、取り上げる人物のお身内の方に直接お話を伺える貴重な機会です。地域の先人たちの偉業を生かして、未来の八王子につなげましょう。

【講師】 間宮 章（まみや あきら） 学園都市大学 元評議委員

塚本 回子（つかもと かいこ） 井田誠一氏次女 ……………

橋本 鋼二（はしもと こうじ） ふだん記八王子 雲の碑 橋本義夫氏次男 ………